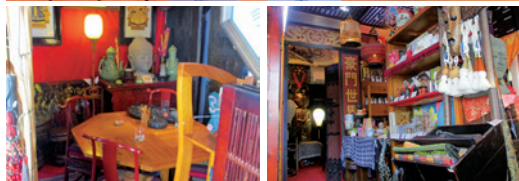


● ボナカジャパン

異国情緒溢れる アジアンテイスト 茶葉・茶器と雑貨のお店



ボナカジャパンは、創業20年になる輸入貿易商社だ。多様な製品を取扱う同社が近年注力しているのが、中国茶や茶器の輸入販売であり、京王相模原線稲城駅近くに、中国茶専門店「豪門(haomen)」を構えている。異国情緒溢れる独特な雰囲気の内は、お茶の香りと相まって、日常を忘れることができる空間となっている。店内に並ぶ茶葉や茶器、雑貨の数々は普段見かけることができない品物で、買い物を楽しむお客様で賑わう。

中国茶の魅力はなんといっても茶葉の種類の豊富さだ。茶葉によって異なる「味の違い」「香りの違い」「効能の違い」は当然のこと、茶葉を摘んだ後放置し、茶葉自体が持つ酵素の働きにより酸化発酵を行う製法も関係している。この酸化発酵の度合によっても種類が変わってくるのだ。発

酵度合いは「不発酵」「微発酵」「弱後発酵」「半発酵」「完全発酵」「後発酵」の6段階に分かれており、茶葉と発酵度合の組み合わせにより1000種類以上のお茶を生み出している。長い年月をかけ、それぞれの地域の気候や食文化が生み出した多種多様なお茶には、心身をリラックスさせる効果や健康促進の効果も期待できる。

新型コロナウイルス感染症により、海外に行くことが難しい中、都内で異国の雰囲気を感じられる同店に足を運んでみてはいかがだろうか。

企業情報

- ボナカジャパン
- 東京都稲城市百村
- 井上いずみ代表取締役社長
- 042-378-6560

<https://bonaka.co.jp>

